

事業所名： グループホーム あさひ

作成日： 令和 7 年 12 月 29 日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	日常的な外出支援に関して、家族アンケートの返答にもあるが、一部外出が出来ていないと感じている方がみえる。外出支援において個人差がある事があり、利用者のADLに左右されている現実もあるので支援するために必要な技術を身につける必要がある。(大型車が運転可能か等)また認知症が重度な方にも本人様に合わせた支援を工夫していく必要がある。	全ての利用者に定期的な外出の機会を得て頂く。	・リフト車の使用ができるようになる。5名 ・この利用者に合わせた外出の企画・実施 ・利用者家族アンケート調査で全ての利用者様、家族様から①満足②やや満足の結果を得る事ができる。	12 か月
2	24	災害対策について 事業所で行う災害訓練に近隣の協力を得る事等は出来ているが、地域が主催している防火訓練に事業所としてこちらから参加することができていない。	地域主催の防災訓練に事業所として参加し地域との連携強化を図ることができる。	運営推進会議や、町内の回覧版の連絡を活用し地域の防災訓練に参加する計画を立てる。歩行が可能な利用者、軽介助の利用者に同行して頂き、避難訓練に参加する。	12 か月
3	7	運営に関する利用者・家族等意見の反映 に関して家族へのこまめな報告、意見、苦情をを理解する為に電話や郵送、意見箱の設置をしてはいるが、家族の意見を吸い上げる点で更なる工夫が必要である。	SNSやラインメール等導入する事で家族への報告や意見の交換が細やかにできるようになり、施設の運営に関して安心していただける対応ができる。	・SNSの活用に関して同意して頂ける家族にはラインメールやSNSの活用・導入をしていく。 ・家族への案内やアンケートの集計等電子化する事で業務の効率化を図ることが出来る。	12 か月
4					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。